

資源集団回収に取り組んでみませんか



問まちづくり支援課 ☎51-6726

資源集団回収とは

資源集団回収は、町内会や子ども会、PTAなどの団体が、各家庭から出る新聞紙や段ボール、びん、缶、衣類などの資源物を持ち寄り、リサイクルに取り組む活動です。

資源集団回収にはこんなメリットがあります

◆収益がでる

- ▶回収業者からの売払金
- ▶市からの奨励金（5円/kg）



本年度から奨励金が
3円/kg から 5円/kgに
引き上げられました！

◆ごみの減量につながる

◆地域のコミュニティづくりに役立つ

◆資源の保全につながる

[令和3年度実績]

実施団体数	回収量（換算重量）[kg]					奨励金(円)
	びん類	金属類	紙類	繊維類	計	
65団体	2,409.2	29,559.3	274,660.0	0.0	306,628.5	919,873



令和3年度は65団体が資源集団回収を実施し、306,628kgの資源物がリサイクルされ、919,873円の奨励金を支給しました。（令和3年度の奨励金は3円/kg。）

団体の登録は2世帯以上であれば家族、ご友人など、どなたとでもできます。家庭から出る資源物を「ごみ」にせず、リサイクルに取り組みましょう。

活動の活発な団体では、
年間で**2万kg**、令和4年度で換算すると奨励金が
年間で**10万円**にのぼる
ことも！



すべてのひとが輝くまちの実現をめざして

問総務課 ☎51-6702



男女共同参画

～昨年11月に、本市の中学1年生の一部を対象に男女共同参画に関するアンケートを行いました～

◆「男女共同参画」という言葉を知っていますか？



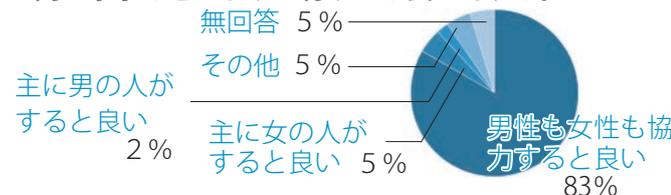
知らない
98%

この質問を20歳以上の市民に聞いたところ、78%が「知っている」と答えましたが、中学生は98%が「知らない」と答えました。

◆中学生には男女差別意識がある？

「男女共同参画」という言葉を知らない中学生に男女差別の意識があるのか、アンケートの結果をみましょう。

■問 家事はどのように行っているのが良いですか。



「その他」の意見では…性別にとらわれずに決める方法が挙げられていました。

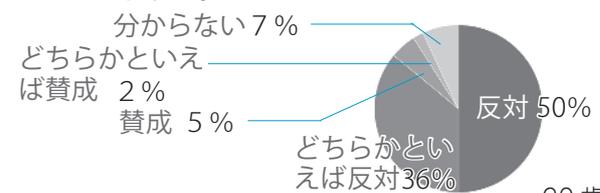


家事を得意とする人がやる

話し合って決める



■問 「男は仕事、女は家庭」という考えについてどう思いますか。



反対 合計 86%
どちらかといえば反対

20歳以上の市民への同じ設問の結果は「反対」「どちらかといえば反対」

の合計が79%でしたので、むしろ中学生の方が男女共同参画の意識は進んでいるようです。

こんな意見も…

男女共同参画という言葉は知らないけど内容は知っている



◆「男女共同参画」という言葉の要らない社会へ

中学生は、「男女共同参画」という言葉も、「男は仕事、女は家庭」といった「固定的な性別役割分担」も意識しない考え方を持っているようです。中学生のアンケート結果から私たちの目指す社会像の一端が見えてきます。